

2023 年度 第 3 回 10 月京大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

I

問(1) 2 点 ○中央構造線／メディアンライン／メジアンライン

問(2)① 2 点 ○河岸段丘／河成段丘

問(2)② 4 点

土地や海水準の上下動により、谷底平野の堆積と侵食による急崖の形成が繰り返された。

【加点ポイント】

★問(2)①「河岸段丘」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【元の地形】

○谷底平野／広い氾濫原

②<1 点> 【地形ができる要因】

○土地の隆起／海水準の低下

③<1 点> 【地形の形成過程 1】

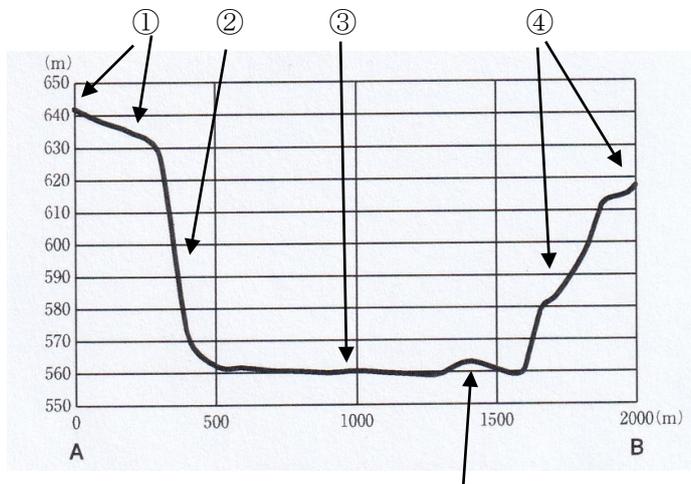
○河川の侵食作用により急崖ができる／河川の側方侵食により段丘崖ができる

(※「侵食」による「崖の形成」の両方で 1 点 「侵食」は「浸食」も可)

④<1 点> 【地形の形成過程 2】

○ (②と③が) 繰り返された／何度も起こることで階段状になる

問(3) 4 点



(この付近の盛り上がりは不問)

【加点ポイント】

<各 1 点×4>

①A の標高が 642m 付近で 630m 付近までなだらかに下がっている。

(640m のまま、ほぼ水平でも可)

②標高 630～560m 付近までの急崖。

③標高 560m 付近の平坦地。

(横軸の 500m から 1600m 付近を大きく外れるものは不可)

④ (③から) 急崖を経て B の標高が 619m 付近である。(途中の勾配の変化具合は不問)

問(4) 4 点

河川の洪水時に、堤防の開口部から水が流入して冠水するため。

【加点ポイント】

①<2 点> 【耕地・宅地とならない理由】

○洪水時に冠水（浸水・水没）するため／河川の流量が多いときに冠水するため  
／遊水池（遊水地）として使われるため

②<2 点> 【①の理由】

○堤防に開口部がある／堤防が途切れている／堤防が不連続である →2 点  
△霞堤になっている →1 点

問(5)② 2 点

冬の季節風が雪を吹き飛ばすため、稜線の東側に積雪が多い。

【加点ポイント】（※問(5)①の正否は問わない）

①<1 点> 【要因となる風】

○冬の季節風／北西季節風  
×「季節風」のみ

②<1 点> 【①の影響】

○（西側の）雪を吹き飛ばす／西側は雪溜まりができてにくい  
／東側は風が当たらず雪が溜まりやすい

## Ⅱ

問(1)エ ○熱帯収束帯／赤道低圧帯／赤道無風帯

問(1)オ ○エルニーニョ現象／エルニーニョ

問(2) 4 点

高温多雨により地中の養分が分解，流失しやすく肥沃でないため，草木の灰を肥料とする焼畑農業が営まれる。

【加点ポイント】

①<1 点> 【農業の特徴】

○焼畑農業／焼畑

②<1 点> 【①の特徴】

○草木の灰を肥料とする

③<1 点> 【②の理由】

○地中の養分が（高温のため）分解しやすい／地中の養分が（多雨により）流失しやすい  
×「肥沃でない／やせている」のみ

④<1 点> 【③の気候的理由】

○高温多雨／気温が高く降水量が多い  
×「高温／多雨／熱帯／熱帯雨林気候」のみ

問(4)② 3 点

人口稠密であるが平野が乏しいため、山地斜面に水田が築かれた。

【加点ポイント】

★問(4)①の「棚田」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【社会的要因】

○人口稠密である／人口が多い／人口密度が高い

②<1 点> 【地形的要因】

○平野（平地／低地）が乏しい（狭い）／島の大部分を山地が占める

③<1 点> 【棚田の場所または特徴】

○山地／斜面／傾斜地／山間部／階段状の水田

問(5)② 3 点

海面上昇で国土が水没し、サンゴの白化現象で観光資源を失う。

【加点ポイント】（※問(5)①の正否は問わない）

①<1 点> 【居住に関わる困難】

○国土が水没する／住居が水没（浸水）する／地下水に海水が混じる

②<1 点> 【①の要因】

○海面上昇

③<1 点> 【観光産業に関わる困難】

○サンゴ（サンゴ礁）の白化／サンゴの死滅／サンゴの減少

#### Ⅳ

問(2) 3 点

製品の原材料や部品調達から生産・販売に至るまでの一連の流れ。

【加点ポイント】

以下の「流れ（連鎖）」

○原料（原材料）の調達／部品の調達／部品の供給

○生産／製造

○販売／配送／消費者に届く

} ○1 つ 1 点  
3 点まで

※上記の「流れ／連鎖／つながり」などの意が汲み取れない解答は 0 点

問(3)① ○石灰石／石灰岩

問(4) 3 点

工場を米国に進出させ、現地生産によって雇用を生み出した。

【加点ポイント】

①<2 点> 【日本のメーカーが行ったこと】

○工場を米国に進出（移転）させた／米国での現地生産を始めた

②<1 点> 【①の利点】

○（米国での）雇用が生まれる

問(5) 3 点

新車販売における電動車の割合を全体の 100%とすること。

【加点ポイント】

①<2 点> 【施策の内容】

○電動車を 100%とする／全てを電動車とする／すべてを環境対応車にする

／ガソリン車やディーゼル車の販売を禁止する

→2 点

（※「電動車」は「電気自動車（EV）と燃料電池車（FCV）とハイブリッド車（HV）」を指すが

「電気自動車（など）」でも加点する）

△「電動車の割合を増やす」など「100%」が不明瞭 →1 点

②<1 点> 【①の適用範囲】

○新車の販売時／新車

#### Ⅳ

問(3) 3 点

農村部からの人口流入が著しいが、生活基盤や雇用機会は不足し、拡大するスラムの衛生状態は劣悪で、大気汚染なども深刻である。

【加点ポイント】

①<1 点> 【プライメートシティの特徴】

○人口流入（増加）が著しい／国内で著しく人口が多い

②<2 点> 【プライメートシティの課題】

○雇用機会の不足／失業率の上昇／インフォーマルセクター従事者の増加

○生活基盤整備の遅れ／インフラ整備の遅れ／上下水道などの整備の遅れ

○スラムの拡大／ストリートチルドレンの増加／衛生状態の悪化

○交通渋滞／大気汚染

○1 つ 1 点

2 点まで

問(5) 3 点

人口の集中する南東沿岸部との格差を是正するため、開発の遅れた内陸部に新首都ブラジリアを建設した。

【加点ポイント】

①<1 点> 【首都名】

○ブラジリア

②<2 点 (1 点×2) > 【遷都の理由】

○南東沿岸部 (リオデジャネイロなど) に人口が集中していた／沿岸部のみ経済発展していた →1 点

○内陸部の開発のため／沿岸部と内陸部の格差を是正するため →1 点

Ⅴ

問(3)① 2 点

水力発電による安価な電力を用いたアルミニウムの生産を行う。

【加点ポイント】

①<1 点> 【金属名】

○アルミニウム

②<1 点> 【生産が盛んな背景】

・水力発電 }  
・安価な電力 } ○2 つ揃って 1 点

問(3)② 4 点

かつては炭田付近に立地していたが、資源が枯渇し、輸入資源の利用に便利なライン川の河港付近に移動した。

【加点ポイント】

①<1 点> 【Xに立地場所】

○炭田付近／(原料の) 石炭が採れる

×「鉄山付近／原料指向立地」のみ

②<1 点> 【立地場所の変化の理由】

○資源 (石炭) の枯渇／採炭コストの上昇

③<1 点> 【Yの立地場所】

○ (ライン川の) 河港／ライン川沿い／大きな河川沿い／内水運が利用できる

×海岸付近／臨海部／沿岸部／河口部／船舶が利用できる

④<1 点> 【③の利点】

○輸入資源の利用に便利／石炭の輸入に便利／輸出入に便利

×「輸出に便利」のみ

問(4)① 1点

農業協同組合の充実。

【加点ポイント】

①<1点> 【デンマークの社会的要因】

○農業協同組合／酪農協同組合

問(4)② 2点

野菜や花卉を生産する園芸農業。

【加点ポイント】

①<1点> 【農業形態】

○園芸農業

②<1点> 【具体的な農産物】

○野菜／花卉

問(4)③ 2点

森林限界を越えた高地（アルプ）での放牧。

【加点ポイント】

①<1点> 【飼育場所】

○高地／標高が高い場所／アルプ／山地の草原／森林限界より高所

②<1点> 【飼育形態】

○放牧／自然の草地を利用した飼育